

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 CIDEZYME Enzymatic Detergent

供給者の会社名称, 住所及び電話番号販

売元:  
会社名 ASP Japan 合同会社  
住所 東京都港区港南2丁目15番2号  
2-15-2 Konan, Minato-ku,  
Tokyo  
国 日本  
電話番号 03-6712-1011  
メールアドレス ASP-SDS@asp.com  
24 時間緊急電話 CHEMTREC JP: 81-345209637 CCN 795874  
CHEMTREC - 国際: +1 703-741-5970

製造元:  
会社名 Advanced Sterilization Products, Inc.  
住所 33 TECHNOLOGY DRIVE  
IRVINE, CA 92618  
国 US  
電話番号 1-888-783-7723  
製品コード -

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 洗剤。  
整理番号 11415-JP

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

GHS分類基準に該当しない。

GHS ラベル要素

絵表示 なし。  
注意喚起語 なし。  
危険有害性情報 混合物は分類基準を満たしていない。

注意書き

安全対策 産業衛生に気を配る。  
応急措置 取り扱った後、手を洗うこと。  
保管 避けるべき物質の近くに保管しない。  
廃棄 内容物/容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS  
で扱われない他の危険有害性

知見なし。

その他の情報

サブチリシン を含む。アレルギー反応を起こすことがある。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 暴露すると、一時的な刺激、発赤、または不快感を引き起こすおそれがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
四ホウ酸ナトリウム(十水和物)	1303-96-4	(1)-69	(1)-69	1 - < 3
ジエチレントリアミンペンタメチレンホスホン酸ナトリウム	22042-96-2	(7)-1308	(7)-1308	1 - < 2.5
サブチリシン	9014-01-1		11-(2)-227	0.1 - < 1

化学式

B4-Na2-07.10H2-0 (1303-96-4), C9H28N3015P5.xNa (22042-96-2)

組成情報

成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである。  
。リストに記載されていない成分は、非危険有害性であるか、報告義務限度未満のいずれかである。

## 4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

石けんと水で洗い流す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

眼に入った場合

水で洗う。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当てを受ける。

会社名: Advanced Sterilization Products 品名: CIDEZYME Enzymatic Detergent

951982 版番号: 1.2 改定日: 2021/06/11

SDS Japan

1 / 5

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状  
応急措置をする者の保護に必要な注意事項

医師に対する特別な注意事項

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

火災時の特有の危険有害性

特有の消火方法

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

一般的な火災の危険性

特定の消火方法

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

回収、中和

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

安全取扱い注意事項

安全取扱注意事項

接触回避

衛生対策

保管

安全な保管条件

安全な容器包装材料

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

暴露限界値

米国, ACGIH 限界値

成分

サブチリシン (CAS 9014-01-1)

四ホウ酸ナトリウム(十水和物) (CAS 1303-96-4)

タイプ

最大許容濃度

STEL

TWA

数値

0.00006 mg/m<sup>3</sup>

6 mg/m<sup>3</sup>

2 mg/m<sup>3</sup>

形状

吸引性画分

吸引性画分

設備対策

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼, 顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具

暴露すると、一時的な刺激、発赤、または不快感を引き起こすおそれがある。

気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。（可能ならばラベルをみせる）医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

周りの火事を消火できる消火剤を使用する。

消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。

火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミストの吸入を避けること。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。

下水や水路、地面への排出を避ける。

大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。パーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出：吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

危険でなければ、漏れを止める。環境への放出を避けること。

該当しない。

適切な換気を行う。

長時間の接触を避ける。産業衛生に気を配る。本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。

詳細については、本SDSの項目10を参照。

本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。推奨保管温度：15 - 30°C。

元の容器に密閉して保管する。

標準監視手順に従ってください。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体。
形状	液体。
色	透明。 紫色。
臭い	ミントのような。
融点/凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし。
可燃性	該当しない。
引火点	> 93.0 °C (> 199.4 °F)
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
pH	7.8 - 8.8
動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度 (水)	水に可溶。
n-オクタノール/水分分配係数 (log 値)	データなし。
蒸気圧	データなし。
密度及び/又は相対密度	
密度	1.09
相対ガス密度	データなし。
粒子特性	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。 熱、スパーク、炎。 霜を避けること。
混触危険物質	強酸化剤、強酸および強塩基。 還元剤。
危険有害な分解生成物	この製品が熱分解すると、一酸化炭素および二酸化炭素を生成することがある。 二酸化硫黄

## 11. 有害性情報

急性毒性 急性毒性であるとは予想されない。

成分	種	試験結果
四ホウ酸ナトリウム(十水和物) (CAS 1303-96-4)		
急性吸入粉塵		
LC50	ラット	> 2.04 mg/l, 4 時間
経口		
LD50	ラット	> 2500 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	> 2000 mg/kg, 24 時間

皮膚腐食性/刺激性 長時間の皮膚接触により一時的な刺激を起こすことがある。

サブチリシン (CAS 9014-01-1) 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。

サブチリシン (CAS 9014-01-1) 区分1  
四ホウ酸ナトリウム(十水和物) (CAS 1303-96-4) 区分2A

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 この製品は敏感な人にアレルギー反応を起こす可能性のある感作性物質を少量含有している。

サブチリシン (CAS 9014-01-1) 区分1

皮膚感作性 この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。

生殖細胞変異毒性 本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

発がん性 ヒトへの発がん性を分類できない。

ACGIH発がん性物質

四ホウ酸ナトリウム(十水和物) (CAS 1303-96-4) A4 ヒトへの発がん性を分類できない。

生殖毒性 この製品は生殖能又は胎児への悪影響のおそれのある物質を少量含有している。

四ホウ酸ナトリウム(十水和物) (CAS 1303-96-4) 区分1B  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分に該当しない。

サブチリシン (CAS 9014-01-1) 区分3 気道刺激性  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分に該当しない。  
誤えん有害性 誤えん有害性でない。  
その他の情報 データなし。

## 12. 環境影響情報

### 環境影響データ

成分	種	試験結果
ジエチレントリアミンペンタメチレンホスホン酸ナトリウム (CAS 22042-96-2)		
水生 急性 魚類	LC50 ニジマス	1200 mg/l, 48 時間
四ホウ酸ナトリウム(十水和物) (CAS 1303-96-4)		
水生 急性 魚類	LC50 Limanda limanda ファットヘッドミノー (Pimephales promelas)	74 mg/l, 4 日間 79.7 mg/l, 4 日間

**生態毒性** この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとはいえない。  
**残留性・分解性** 速やかに生分解が起こると予想される。  
**生態蓄積性** 本製品は生物蓄積されるとは予想されない。  
**土壤中の移動性** 本生成物のデータはない。  
**オゾン層への有害性** データなし。  
**他の有害影響** その他の環境悪影響(例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性)は、これらの成分からは予想されない。

## 13. 廃棄上の注意

**残余廃棄物** 現地の規定に従い、処分する。空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。  
**汚染容器及び包装** 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。  
**地域の廃棄規制** 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物/容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

**IATA** 危険物には該当しない。  
**IMDG** 危険物には該当しない。  
**MARPOL73/78 附属書II 及びIBC** 該当しない。  
**コードによるばら積み輸送される液体物質**  
**国内規制** 国内輸送については15章の規制に従うこと。

## 15. 適用法令

**労働安全衛生法**  
**通知対象物**  
ホウ酸ナトリウム 別表第9 政令番号 544 1.6 %  
サチライシン 別表第9 政令番号 186 0.27 %  
**表示対象物**  
ホウ酸ナトリウム 1.6 %  
**毒物及び劇物取締法**  
**特定毒物** 該当せず。  
**毒物** 該当せず。  
**劇物** 該当せず。  
**化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律**  
**第一種特定化学物質** 該当せず。

## 第二種特定化学物質

該当せず。

## 監視化学物質

該当せず。

## 優先評価化学物質

該当せず。

## 化学物質排出把握管理促進法

### 特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

### 第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

ほう素化合物(ほう素として)

政令番号 405

1.6 %

(四ほう酸ナトリウム(十水和物))

### 第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

## 消防法

消防法の危険物に該当しない。

## 船舶安全法・危規則

該当せず。

## 航空法・施行規則

該当せず。

## 火薬類取締法

該当せず。

## 土壌汚染防止法

### 第二種特定有害物質

ほう酸ナトリウム

第二溶出量基準

30 mg/l 総B量

地下水基準

1 mg/l 総B量

土壌含有量基準

4000 mg/kg 総B量

土壌溶出量基準

1 mg/l 総B量

## 水質汚濁防止法

リン

ほう素及びその化合物

## 下水道法

ほう素及びその化合物(海域以外の公共用水域) (ほう素として)

10 mg/l

ほう素及びその化合物(海域) (ほう素として)

230 mg/l

## 16. その他の情報

### 引用文献

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法

Advanced Sterilization Products は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。